

R7協働福祉(地域防災)フォーラム発表要旨

開催：令和7年(2025年)10月5日(日) 於・本郷駅前地域ケアプラザ(SAKAESTA) 主催：本郷中央地区支えあい連絡会・地域防災部会

	訓練内容	工夫点	課題	備考
コープ野村湘南本郷台自治会	・地域防災拠点の訓練に参加, カンテラ点火訓練, ガス灯点火訓練, トイレ設営等。	・防災訓練は自治会員に案内を配布し、参加希望者と本郷中体育館(開催場所)へ移動し訓練に参加。		
コープ野村本郷台自治会	・例年, 安否確認訓練を中心に実施。 ・今年是非常ベルの鳴動訓練を企画した。 (どんな音がするのか, 止め方)	・炊き出し訓練と併せ, 防災秋まつりとして, 炊き出し訓練, 防災クイズ大会を開催。 ・防災クイズは, 毎月発行の防災新聞の中から出題。豪華賞品もあり大いに盛り上がる。	・自治会のパワーが落ちてきている。 ・訓練参加率は20%(160世帯)。 ・高齢化とともに単身世帯が増加。訓練をきっかけに外に出て, 話しをする機会になると良い。	・防災組織は, 管理組合と自治会で構成。各役員は単年度で交代するため, 常任の専任委員が3名いる。
フローラ桂台自治会	・年1回, 10月に実施。 ・安否確認訓練(参加率60~70%) 「無事です」マグネットカードを自主制作, 階段ごとに班長がいて, 集計している。 ・消火訓練(参加率40%), 昨年度は煙脱出体験を実施した。 ・大きな鍋で米を炊く, 炊き出し訓練を実施したことがある。	・防火管理者が一人いる。 ・訓練と併せて, 桂台ケアプラザとともに健康相談, 区役所と協力してベジチェックを企画した。 ・緊急時要援護者支援システム: 誰かに助けて欲しいという希望のある方の登録をしている。100人くらい登録があり, 防災と連動するシステム化を考えている。	・参加は150人位(390世帯)。 ・自治会の連合は本郷中央地区に所属しているが, 地域防災拠点は上郷西地区の上郷小学校。防災拠点の運営委員は連合をまたいで情報を密にする必要がある。	・災害時, 花籠公園が自治会の活動拠点となる。
朝日平和台自治会	・毎年11月後半に実施。 ・スタンドパイプを使用した消火訓練, 消防団または消防署の協力得て実施。 ・AED訓練(心臓マッサージは高齢者にはハード)。	・防災マニュアルを作成した。 ・自治会内の消火器マップを作成し, 全戸配布し, 周知を図った。	・R6年に自治会でアンケートを実施。 270世帯中, 災害時の要救助者35名。 ・世帯調査で一人暮らしが多いことがわかった。要援護者への対応を考えることが課題。 ・役員が2年交代 継続の難しさを感じている。	
桂台団地自治会	・炊き出し訓練。	・共助の前に近助(近所)が大切と考えている。 ・LPガスタイプ発電機(10kgボンベで連続20時間運転可能)というものがある。	・自治会の高齢化。 ・引き継ぎの問題, 備蓄の管理ができていなかった。 ・炊き出し訓練は人が集まるが, 単なるお客様で終わる傾向がある。	・パワーポイントを使用。 ・カマドベンチを備えた防災公園が整備されると災害時有用(鎌倉市の事例を紹介)。
公田町団地自治会	・年3回, URと合同で実施している。 ・「無事です」要援護者カード。 ・非常時はベランダの隣との壁を壊して避難する計画。高齢者がどうやって壁を壊すか実践訓練。 ・無線を使用し避難誘導訓練(誰でも無線を使えるように)。	・発電機はガスとガソリンタイプ。夏祭りで使用し, 訓練の一環と動作確認。 ・防災マニュアルを時間かけて作成した。 ・AEDが自治会にある。	・住民の6割が高齢者(70~80代), 外国籍の方が1割。 ・地域防災拠点(桂台小)が遠い, 無線を5台購入。 ・コロナになってから, マニュアル通りに防災訓練ができなくなってしまった。集まれる人でできる範囲の訓練になっている。	
公田ハイツ自治会	・訓練は11月第1日曜日と決めている。 (栄消防署に来てもらっている) ・安否確認訓練 (ハチマキ使用: 赤=助けて, 緑=無事)	・水消火器で消火訓練。AED, 炊き出し訓練はやめた。 ・「映像119」を使用して訓練をした。 ・発電機 ガソリンは誰がどうやって管理する? →ソーラーパネル発電機を2台購入した	・高齢化が進み(220世帯のうち2/3が80代), 空家も増えてきた。助ける側になれる人が少ない。 ・防災訓練に役員しか出てこない。	
椎郷台町内会	・年2回全班が参加する公園清掃時に防災訓練も実施している(6月と11月)。 ・簡易担架使用, 水消火器, 三角巾使用法, テント・仮設トイレの設置などの訓練。 ・発電機を動かし, 投光器を動作させている。	・発電機は, ガソリン式をやめてカセットガスタイプへ変更。 ・公園の清掃の後に行っているため, 一定の訓練参加者数が見込める。 ・要援護者・避難の支援を受けたい方, 支援をできる方の把握をしている。	・役員は1年交代 継続が難しい。 ・高齢化が進み 地域防災拠点までの移動の難しさがある。 ・会館がなく, 心肺蘇生法の訓練の希望はあるが, 場所の確保ができない。 ・スタンドパイプもないので, 初期消火訓練も難しい。	

	訓練内容	工夫点	課題	備考
湘南ハイツ自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安否確認訓練。</li> <li>・スタンドパイプ・消火器訓練,</li> <li>・AED・心肺蘇生訓練。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要援護者推進委員会があり, 訓練前に安否確認を実施している。</li> <li>・「無事です」カードの掲出。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転入者が自治会に入会してくれない。</li> <li>・自治会は663世帯。高齢化が進んでいる。</li> <li>・参加者が少ない(40人参加)。</li> <li>・毎年役員が交代しているので, 引継ぎが難しい。</li> <li>・在宅避難を勧めている。</li> </ul>	
桂公田町会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町会の規模が大きいため, 6ブロックに分けて, それぞれ年1~2回開催している。</li> <li>・トイレ, テントの設営, 炊き出しなど。</li> <li>・全体の総合防災訓練を11月中旬に実施。</li> <li>・安否確認訓練 17ヶ所いっとき避難場所があり, 周辺被災状況・安否確認。</li> <li>・避難訓練。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこにいけばいい? 何をすればいい? まずはみんなで集まって, 情報交換しよう!</li> <li>・6ブロックごとに, 方面別避難場所(副本部)があり。1~2日程度生活できる場所を構築する備蓄倉庫もある。</li> <li>・総合災害避難場所: 町内会館(本部), 公田中央公園: 3日程度生活できる場所を構築する。</li> <li>・本郷小, 本郷中, 公田小, 西本小, 地域防災拠点4ヶ所との無線による情報交換。</li> <li>・安否確認タオルを全戸配布している。</li> </ul>		
桂台自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安否確認訓練(年2回)。</li> <li>・スタンドパイプ式消火訓練を年1回(消防団が支援)。</li> <li>・AED訓練も年1回(栄消防署が支援)。</li> <li>・要援護者支援訓練(年2回)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2023年に有志の会(元自治会役員)を立ち上げ, 50名がサポートしている。</li> <li>・防災ライセンス所持者が6名いる。</li> <li>・自治会が中心となって, 家庭用消火器の入れ替え, 新規購入をしたので, 各家庭の定期交換時期が把握体制づくりができた。</li> <li>・自治会でインスタグラム・SNSを開設。SNSを見て若い世代の入会があった。</li> <li>・子供たちが楽しめるイベントが人と人の繋がりとなる。</li> <li>・子育て世帯を地域全体で応援している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会は50年を越えているが, 防災に関してのとりまとめをひとりに頼っている(高齢)。</li> </ul>	
湘南桂台自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回開催, 1部は安否確認訓練, 2部は地域防災拠点運営訓練。200人程度の参加。</li> <li>・安否確認訓練</li> </ul> <p>継続可能な活動として, 安否確認は班長と次期班長, 次々期班長の3人で行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期消火訓練</li> <li>・日常的にも訓練は必要, 災害時要援護者支援委員会をつくり, 民生委員と活動各班長とも情報共有。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3S組織(湘南・災害時・サポートチーム) 防災ライセンス取得者, 看護師, 建設関係等, 災害発生時には本部に入ってもらう。</li> <li>・役員が1年交代であるため, サポートとして元役員で防災委員会を立ち上げた。</li> <li>・災害発生時, 消防はすぐに来られない, 住民自身で備えるように周知している。</li> <li>・遊水地に太陽光発電システムがあり, 災害発生時に使用可能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域避難場所が今のままで良いのか, 区に見直しを依頼している。わざわざ遠くへ避難する必要性があるのか? 協議している。</li> <li>・地域防災拠点に夜間照明の設置を要望している。</li> <li>・テント, エアマット, 拠点の環境を整えている。</li> <li>・自分たちのことは自分たちで守れるようにする。</li> </ul>	
グリーンテラス本郷台自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安否確認訓練(タオル)。</li> <li>・AED・心肺蘇生訓練。</li> <li>・消火訓練。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安否確認BOXを防災倉庫で保管, 住民のリストが入っている。</li> <li>・納涼祭にて防災クイズを行い, 啓発に務めた。</li> <li>・防災倉庫の分散配置(3ヶ所)をし, リスク軽減を図っている。</li> <li>・防災対応の自動販売機も設置している。</li> <li>・防災通信を発行している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化が進んでいる。</li> <li>・役員は1年交代。毎年イチから始めていくことを繰り返している。</li> <li>・建物構造により, 横移動はしやすいが, 縦の移動は必ず階段を使わなければならない。</li> </ul>	

主な質疑	<p>・グリーンハイツ本郷台自治会が設置している、防災対応自動販売機について、どういシステムになっているのか？(設置の流れや使い方)</p>	<p>・管理組合が設置した。設置するための流れは把握できていない(グリーンハイツ)。          ・2台設置。停電の際、どのボタンを押しても出てくるモードに切り替えることができる(桂台団地)。          ・停電時にもあかりがついているので、夜間に街灯になる。自動販売機の商品で「飲料水」があると調理にも使えるので、勝手が良い(消防団)。</p>
	<p>・桂公田町会で発生した災害は土砂災害と思われるが、その時の「訓練が役に立った」、「こういう訓練をしておいた方が良い」というものが何かあればうかがいたい。</p>	<p>公田町の奥の荒井沢と呼ばれる地域で発生したがけ崩れ。近隣のハビリポート横浜に協力を要請して、実際に4世帯が避難した。</p>
提案・要望	<p>消防団より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安否確認について、集合住宅の場合の「無事です」サインは、玄関ドアではなく、ベランダに出すと集計しやすい。</li> <li>・発電機用ガソリン缶詰(1ℓ、使用期限3年)がある。保管も簡単。</li> <li>・備蓄水について、使用期限が切れても、生活用水としての活用方法もあることを知っておいてほしい。</li> <li>・備蓄品・資機材を使用期限や劣化などで廃棄する際、資源循環局に問い合わせると、家庭ゴミではないという理由で、引き取ってくれない場合があるので、区に善処をお願いしたい。</li> </ul>	



令和7年度協働福祉(地域防災)フォーラム

日時： 令和7年(2025年)10月5日(日) 13:30～15:40

場所： 本郷地区センター・大会議室(SAKAESTA)

- 次第： 1. 各町内会自治会へ前年度実施した防災訓練に関するアンケートのふりかえり(支えあい連絡会・地域防災部会主査・森木澄夫)  
 2. 各町内会自治会の防災訓練について紹介(発表と意見交換)  
 3. 在宅避難のすすめ(栄区総務課危機管理地域防災担当係長・藤井竜馬氏)  
 4. 閉会の挨拶(支えあい連絡会会長・長沼勲)

